

国土交通大学校（小平本校）の施設管理業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

国土交通大学校（小平本校）の施設管理業務（点検等及び保守、清掃等業務、警備等業務、執務環境測定業務）を行うもの。

契約期間：平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの 3 年間

2. 実施状況に関する評価

- ・ 確保されるべき質として設定された以下の項目すべてが達成できた。
 - ア 快適性の確保
管理業務に係る満足度についてのアンケート調査を施設利用者である研修員を対象として研修毎に行い、各項目で「普通」以上の回答を 70% 以上とする。
 - イ 品質の維持
施設の管理業務の不備に起因する研修の中断回数並びに空調停止、停電及び断水の発生回数を 0 回とする。
 - ウ 安全性の確保
施設の管理業務の不備に起因する施設利用者の怪我の発生回数を 0 回とする。
- ・ 事業者の改善提案に基づいて実施要項に記載のなかった以下の事項に積極的に取り組み、民間事業者の創意工夫が発揮されている。
 - ア 点検等及び保守において、校内機械設備等の状態を月毎に報告するとともに、修理等の機種選定及び見積書作成を実施した。
 - イ 清掃等業務において、建築物清掃管理評価資格者による品質評価を実施し、最適な清掃方法と継続的な品質向上に取り組んだ。
 - ウ 警備等業務において、警備員現任教育を社内で行い、質の向上を図った。

3. 実施経費に関する評価

実施経費（1 年あたりの換算額）は、71,925 千円であり、従来の実施に要した経費（平成 19 年度実績）に追加業務経費分を加算した額 91,495 千円と比べ、19,570 千円、約 21.4%の経費が削減された。

4. 今後の事業について

本事業については、確保されるべき質が達成され、実施経費も削減されていることから、次期事業においても引き続き民間競争入札を実施することが適当である。

なお、次期事業において、民間競争入札を実施する際には、参入実績のない民間事業者においても、実施状況を踏まえた工夫（企画書の提案）が可能となるよう、実施要項等に本実施状況の内容を十分に情報開示することが必要である。

以上